

式典次第

<p>■開会式 第1日 9:00 (集合完了8:55) 集合 各校旗手が整列 (メインスタンドに向かって右より大津商・大津……と4ページ学校順に整列)</p> <ol style="list-style-type: none"> 開式通告 国旗・高体連・滋賀陸協旗掲揚 優勝杯・優勝盾返還・レプリカ授与 男子総合 比叡山高校 トラック 比叡山高校 フィールド 彦根翔西館高校 女子総合 草津東高校 トラック 草津東高校 フィールド 彦根翔西館高校 挨拶 高体連陸上競技専門部 部長 太田義人 競技開始宣言 審判長 選手代表宣誓 草津東高校 小谷菜々 閉式通告 	<p>■閉会式 第3日 (競技終了後) 集合 各校整列 (開会式と同じ学校順にて)</p> <ol style="list-style-type: none"> 開式通告 成績発表 表彰 賞状・優勝杯・優勝盾授与 大会新記録樹立者紹介 最優秀選手賞授与 (男・女) 総合優勝監督賞授与 (男・女) 挨拶 高体連陸上競技専門部 部長 太田義人 国旗・高体連・滋賀陸協旗降納 閉式通告
--	--

競技注意事項

- 競技規則について
 2024年公益財団法人日本陸上競技連盟規則及び、本大会申し合わせ事項により実施する。
- 招集について
 - 選手招集は第3ゲートバックスタンド下で実施する。
 - 招集開始時刻に係員からアスリートビブスとスパイクの確認を受け、競技者係の誘導指示に従う。現地での最終点呼の代理は認めない。ただし、多種目を同時に兼ねて出場する選手は、最初の種目の招集完了時刻30分前までにV-TIC(バーチャルTIC)にて「多種目同時出場届」に必要事項を入力・提出し、さらにスパイク・アスリートビブス等は招集所で確認を受けること。
 - 欠場する選手は、招集開始時刻までにV-TICにて「欠場届」に必要事項を入力・提出すること。
 - 招集時刻(競技開始時刻を基準とする。)



トラック競技予選・タイムレース決勝								
100m・200m・400m			800m・110mH・100mH 400mH・4×100mR			1500m 4×400mR		
組	開始	完了	組	開始	完了	組	開始	完了
1~4	25分前	15分前	1~3	25分前	15分前	1~2	25分前	15分前
5~8	15分前	5分前	4~6	15分前	5分前	3~4	15分前	5分前
9~12	5分前	5分後						
13~	5分後	15分後						

トラック	
決勝	
開始	完了
25分前	15分前

フィールド			
跳躍		投てき	
開始	完了	開始	完了
60分前	50分前	50分前	40分前

- リレーに出場するチームは、その種目(第1組)招集完了時刻の1時間前までにTICに用意してあるオーダー用紙に、オーダーを記入し招集所に提出すること。また決勝においてもメンバー、オーダーの変更の有無にかかわらず、オーダー用紙にオーダーを記入し、予選に準じて招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。
- 携帯電話、スマートフォン、タブレット等の通信機器を招集所・競技エリア内に持ち込むことを禁止する。

3. アスリートビブスについて

- ①アスリートビブスは必ず胸、背部につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部だけでよい。
- ②写真判定にともなう腰ナンバー標識は、右側後方につけること。
- ③3000m決勝、3000mSC 決勝、5000mW 決勝、4x400mR(2・3・4走)については別腰ナンバー標識を使用する。男子800m、1500m、5000m、女子800mについては別腰ナンバー標識を両腰につけること。招集所で受け取り、フィニッシュ後に競技者係に返却すること。

4. 競技の抽選および番組編成について

- ①予選におけるレーン順および競技順はプログラム記載の順序とする。ただし、800mについて、10名の場合は8レーンに2名入る。なお決勝の組み合わせ(レーン順、試技順)は全て番組編成員が行う。
- ②タイムによるプラスの決定は、プラスの明示してある人数以内の同記録者数であれば次のラウンドへ進める。プラスの人数を超える同記録者が出た場合は、写真判定によっても着差が認められなければ、本人または代理人の抽選により次のラウンドへの進出者を決定する。ただし、オープンレーンの競技の同記録者は、全員次のラウンドに進出できる。シードグループの決定で同記録者が出た場合もプラスの決定方法に準ずる。
- ③トラック種目(リレー種目除く)でAB決勝を行う場合において、予選記録上位8名がA決勝に、予選記録上位9位~16位までの選手がB決勝に進出とする。なお、リレー種目(女子4x400mRを除く)においてはA決勝に進出するチームを除く、予選記録上位8チームがB決勝に進出とする。

5. 競技について

- ①競技者に対する助力については、TR.6に準ずる。
 - ②次の種目について、下記のタイムを超えて周回を残している場合、競技運営上フィニッシュ地点で競技を中止させる場合があるので、審判員の指示に従うこと。
(男子)5000m 18分 5000mW 30分 (女子)3000m 12分 5000mW 33分
 - ③5000mにおいてはアウトレーンゴールにする。
 - ④計測記録については下記のとおりとする。
- | 男子 | 計測記録 | 女子 | 計測記録 |
|-------|-------|-----|-------|
| 砲丸投 | 9m00 | 砲丸投 | 6m00 |
| 円盤投 | 28m00 | 円盤投 | 15m00 |
| やり投 | 42m00 | やり投 | 17m00 |
| ハンマー投 | 20m00 | | |
- ⑤三段跳の踏切板は、砂場から男子12m00、女子9m00の地点に設置する。
 - ⑥男女走幅跳・三段跳の競技前練習について、試技順に「公式練習2本」を行った後、競技開始時刻5分前までフリー練習とする。
 - ⑦女子棒高跳に出場する競技者は、男子の棒高跳競技終了後から招集開始時刻までの間、棒高跳ピットを使用して練習することができる。
 - ⑧走高跳・棒高跳の競技前練習について、フリーで足合わせを行った後、競技順に事前に決められた高さでの「公式練習2本」とする。
 - ⑨フィールド競技における手拍子についてはTOP8以降(走高跳・棒高跳においては上位8名程度)に限ること。
 - ⑩トラック競技において、主催者が設置したビデオを判定に使用することがある。

6. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

	種目	練習	バーの上げ方
男子	走高跳	1m45、1m70 1m85	1m50-55-60-65-70-75-80-85-88-91 以降3cm刻み
	棒高跳	1m90、3m00 4m00	2m00-20-40-60-70-80-90-3m00-10-20 以降10cm刻み
女子	走高跳	1m20、1m45	1m25-30-35-40-45-48-51-54-57 以降3cm刻み
	棒高跳	1m90、2m50 3m00	2m00-10-20-30-40-50-60-70-80 以降10cm刻み

*同記録による1位を決定するバーの上げ下げは走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

*バーの上げ方(練習の高さを含む)については、天候等の状況により変更する場合がある。

7. 競技用具について

- ①競技に使用する用具は、棒高跳用ポール以外、競技場備付けのものを使用しなければならない。ただし、やりについては、1人2個以下のものに限り、当日検査の上、使用を認める。このとき、すべての競技者が使用できることが条件となる。
- ②やりの検査は競技開始の1時間前より40分前までに、100mフィニッシュ側の用器具庫で行う。やりには学校名を記入しておくこと。前回の検査済シールは剥がしておくこと。
- ③シューズ(スパイク、ランニングシューズ含む)の靴底(ソール)の厚さについては、レース後および競技中に確認することがある。

8. 表彰について

- ①男女別総合優勝には優勝杯を授与して表彰する。(各種目の得点は1位8点～8位1点とする)
- ②男女別総合1位～6位には賞状を授与する。表彰は3位までとする。
- ③男女別トラック・フィールド優勝校に、優勝盾と賞状を授与して表彰する。
- ④各種目1位～3位までの入賞者に賞状を授与して表彰する。競技結果の正式発表のアナウンスがあったら直ちにエントランスホールに集合すること。その際、優勝者の部旗の掲揚を行うので、当該校で準備しエントランスホールに持参する事。
- ⑤男女最優秀選手各1名に盾を授与して表彰する。
- ⑥大会新記録樹立者を表彰する。
- ⑦男女別総合優勝校の監督に盾を授与して表彰する。

9. 練習について

- ①本競技場練習の時間帯は1日目は7:30～8:50、2日目・3日目は7:30～9:00とする。また、補助競技場の練習の時間帯は8:00～最終種目招集時間開始時刻までとする。
- ②本競技場・補助競技場とも競技場備え付けの用具を使用すること。ラダー、ミニハードル、ゴムチューブ等を使用しての練習は禁止する。
- ③本競技場のレーンの使用は、1レーンは400m以上のスピード練習、2レーンはジョグ専用、3～7レーンは短距離練習、8・9レーンはハードル練習とする。補助競技場のレーンの使用は、1レーンは400m以上のスピード練習、2レーンはジョグ専用、3～6レーンは短距離練習、7・8レーンはハードル練習とする。
- ④補助競技場の跳躍練習について、助走練習のみ可能とする。ただし、使用する者で準備・片付けをすること。マットや踏切板の使用はできない。
- ⑤投てき練習(メディシンボール等を含む)は、競技場の内外を問わず一切禁止する。
- ⑥ウォーミングアップは補助競技場および室内練習場で行うこと。2階・3階のスタンド通路、本競技場通路や駐車場周辺でのウォーミングアップは禁止する。
- ⑦室内練習場は、短距離系のスピード練習と長距離のジョグは混在しないように注意すること。また、走る方向は彦根城側から大型スクリーン側とする。砂場は使用不可とする。

10. 正式結果の発表と抗議について

- ①競技結果については、場内スクリーンに「OFFICIAL」と表示され、アナウンスされた時点を正式発表とする。
- ②発表された結果に対する抗議は、競技規則 TR8 に定められている時間内(同一日に次ラウンドが行われる場合にはアナウンス後 15 分以内、それ以外は 30 分以内)に、競技者自身または代理人が、TIC の担当総務員に口頭で申し出ること。審判長が再度検証し、担当総務員を通じて裁定を伝える。

11. その他

- ①競技会開催中における怪我については応急処置の他は責任を負いません。充分注意すること。
- ②各校、事前に決められた場所を使用すること。テントはメインスタンド、サイドスタンドは禁止する。バックスタンドは可とするが、風で飛ばないように設置すること。各自、各チームが出したごみは持ち帰りを基本とする。各チームで使用した場所は責任をもって清掃し、競技場の環境美化に努めること。
- ③貴重品、荷物類は各自で管理し、盗難等に十分注意すること。
- ④各校の荷物は、すべての競技が終了したのちに、室内練習場に置くことができる。
- ⑤競技場外でのテントの設営を禁止する。
- ⑥横断幕の設置は、サイドスタンドおよびバックスタンド最前列手すりとする。
- ⑦大会で撮影した画像・動画等をSNS等へ投稿しないこと。
- ⑧スタート地点など、撮影禁止エリアでの撮影は認めない。審判員の指示に従うこと。
- ⑨メインスタンド・バックスタンドから競技場内の選手への物の受け渡しは不可とする。吊り下げ・投げ渡し等、危険な行為はしないこと。また、メインスタンド・バックスタンドで競技中の選手のサイドスタンドへの移動はしてはいけない。